



図書館と電子計算機

喜屋武 盛 基

我が国の大学図書館における最近の電子計算機利用に関するアンケート調査⁽¹⁾によると、国立大学に限って言えば、全体（回答率65%）の48%が何らかの形ですでに電算化を実施中であり9%が準備中、23%が実施を前提に調査中、その他（電算化不可能、否定、わからない）が10%となっており、国立大学附属図書館の電算化指向がいちゞるしいことを示している。このことは近年の激増する内外の出版物や学術情報による急増する事務量と、あらゆる分野に急速に普及しつつある電算機⁽²⁾とを考え合わせると当然の成りゆきと云えよう。

琉球大学においても昨年来、一部業務の電算化を進めているので、こゝではその概略を述べ更に将来どのような方向に電算化を進めようとしているかについて考えてみたい。

本学では手始めに欧文雑誌の発注業務と受入れ業務の電算化を試みた。欧文雑誌から手をつけたのは、電算機の入出力装置（ラインプリンタ、カードリーダ等）が英数字⁽³⁾とカタカナ文字に限られているからに他ならない。和文雑誌に関しても同様な電算化が行なえるし処理自体全く支障はないが、図書館利用者のための目録作成や将来の情報検索システム等を考えると、漢字プリンタの導入が望まれる。

処理の内容は、ひとことで言えば、オフラインバッチ処理のファイルメンテナンスである。それは、発注受入れ業務に関連のあるすべての欧文雑誌について処理に必要な情報（雑誌名、出版社名、取扱い書店名、所属学科名、巻、号、価格等）を電算機の補助メモリに記憶させたマスターファイルを基にちて、発注受入事務処理を機械化し、処理の高速化正確化をはかると共にマスターファイルをその都度更新して欧文雑誌についての最新の情報を維持することである。マスターファイルの記録媒体としては今の所磁気テープが最も安価であるが、将来のオンラインリアルタイム処理（所在検索問合わせ業務等）にそなえて磁気ディスクパックとし処理方式も乱処理（random processing）にした。

処理の手順やプログラムの内容についての細部の説明はあえて行なわないが、電算化の作業としては

概略つぎに述べるような順序で行なった。まず、従来手作業によって行なわれていた発注受入れ業務の手順を細かく記述した流れ図（flow-chart）を作り、これを基にして使用する電算機のシステム構成に合うように手順の再検討、修正、簡素化を行なう（システム設計）。この作業は通常、事務処理に精通した人とシステムエンジニアとが共同でやる場合が多い。このようなシステム設計が完了した後プログラムの作成に移る。システム設計で行なったインプット、アウトプット、処理の種類、ファイルの構成等を含んだ明細流れ図を基に使用言語のコボルによるプログラムを作成（coding）して、例外的な処理やシビアな条件などを含めたテストランを経た後実用に供する。

前述のマスターファイルから機械的に必要な書類（学科別発注調書、書店別発注書、雑誌目録等）を逐次作成することができるので従来の手作業による負担が軽減される。なお、マスターファイルへの新しい情報の書き込みは今のところ、定期的に計算センターにおいてカードにより入力するいわゆるバッチ処理にしているが、将来は所在検索問い合わせ業務も含めたビデオ端末によるオンライン処理にした方が望ましい。

所で、電算化の大きな目的は図書館利用者へのサービスの向上であろう。現有定員でサービスのより迅速化、正確化を計るには、どうしても電算機にたよらざるを得ないと考える。たゞ、電算化による省力化はすくなくともみかけ上（＝ひまができること）はあまり期待できないだろう。返って電算化移行の過渡期には事務量は一時的に増加することすらあり得る。しかし一度電算機に乗れば、サービスは質量共に飛躍的に向上する。例えば、現有定員では手一杯でとても手が廻らなかつた学科別或いは専門分野別の分類、統計、推計等や最近各学科に配布された洋書目録⁽⁴⁾などが容易にできるようになるし、事務処理自体も実質的には省力化されるから、余力をサービスの質の向上にまわすことができる。

ここで特に言及したいことはプログラムの役割である。一度プログラムが完成すれば、これまで述べたような処理が迅速かつ正確にしかも大量に何回でも行なうことができるが、電算機の内部で作動しているプログラムの一つ一つがプログラムの忍耐と創意工夫の成果であることを忘れてはならない。図書館の宮島係長をキャップとする計算センターの二人の非常勤職員、それに私の所の電気工学科四年次卒業研究生諸氏のチームワークに敬意を表したい。（ちなみに計算センターでは図書館事務処理のソフトウェアの開発の他に学生部関係の諸統計処理、入試改善委員会の調査資料の処理、共通一次入試の実施に伴う新しい入試処理プログラムの開発、廃棄物処理委員会の調査資料の処理、学業成績記録の電算化等、学内各部よりの電算化の動きに対して前向きな姿勢で協力していることを付記しておく。）

さて、以上が現在図書館が進めてきた電算化のあらましであるが、今後はどのような計画であるのか担当の宮島係長にお聞きしたら大凡つぎのような計画（希望）を図書館の計画として持って居られることが分った。

- (1) 現在の欧文雑誌の発注受入れ業務、目録作成等の処理に加えて会計処理まで含める。
- (2) 和文雑誌についても欧文雑誌同様の処理を行なう。
- (3) 借出し業務のオンライン化。
- (4) 文献検索システムの導入。
- (5) 日本科学技術情報センターのデータベース利用のオンライン端末の設置。

(1)から(5)までの事柄は、いわゆる「大学図書館における情報処理のトータルシステム」⁽⁵⁾の完成を目指

すものであり、可能なことから地道に一つ一つ琉大図書館にマッチしたシステムをつくるのに意欲的であることに大いに賛同し、私も微力ながら、その実現のために御協力することを約束した。

さて、上記の事柄の(1)については何ら問題点はないとみてよいし(2)についても仮名文字を雑誌名に使うなら欧文雑誌⁽⁶⁾と同様にできる。なお(3)以下については図書館専用機の導入か、あるいは計算センターに大型機を導入してそれを共用するかという2つの方法が考えられるが、どちらにするかは現在構想中の大学間学術情報ネットワーク⁽⁷⁾との関連や現在すでに稼動している国立大学事務処理専用のセンター（九州地区は熊本大学にある）の動向なども考慮して決めるべきであろう。(4)については将来の構想ではあるが、図書館の電算化の最大目標であるので、計画は今からそれなりに進めて行くべきであるとする。 (5)についてはJOIS (JICST On-line Information System)と称する科学技術情報のオンライン情報検索システムが昭和51年よりすでに稼動しているので、必要であればいつでも端末を設置できるが、これは予算と学内のニーズとのかねあいでは決まることなので先ずその面の調査が必要であろう。

最後に現在新キャンパス移転に関連して取りざたされている分館の設置に関する不可論争について私見を述べてみたい。

私は工学部に所属する立場から、工学部と農学部の敷地付近に農工分館（応用科学分館とでも呼ぶべきか？）を置くのが良いのではないかと考える。しかし具志図書館長や宮島氏やその他の図書館関係者から色々困難な点が指摘された。第一に定員の問題があるという。分館をおけば必然的に事務量の増加が予測されるがそれに見合うだけの定員増のメドは全くないということである。つぎに新キャンパス移転に際して分館をつくるということは計画中の本館から面積を分ける以外にないが、それは好ましくない。それより現有の資格面積をすべて中央図書館に当て、将来蔵書の増加などで増築を必要とするときに分館を考えた方がよいとする考え方である。また中央図書館一館にして図書の集中管理をすることは、他の大学図書館との文献の問い合わせ、交換、貸借にも是非必要であり、将来のコンピュータネットワーク構想との関連でも望ましい方式であるという。

たしかに予算ならびに定員、運営面からの見方も重要であると思うが、一方図書館利用者の立場をも考慮する必要があり、両方の適当な妥協点を見つけて早急に解決してほしいものである。定員や予算の問題は学内のコンセンサスさえ得られれば大学内部でも解決できようし、また事務手続等の合理化や電算機の活用による省力化などによってもある程度解決できるのではなかろうか。一方、他大学との文献交換や貸借にしても中央図書館が分館にある図書の二次情報を十分に掌握し集中管理するだけで対応できるものとする。

こゝら辺も電算機の高度利用に待つところが大きい。

〔注〕

- (1) 糸永・川端・鯨坂「大学図書館における電算化の動向」長崎総合科学大学紀要第19号
- (2) 日本情報処理開発協会「昭和60年度における我が国の情報化および情報産業の計量予測（昭和51年7月）」による。
- (3) アルファベット大文字と数字
- (4) 「琉球大学学術雑誌目録 欧文編」1978 琉大図書館
- (5) 特定研究「大学図書館における情報処理のトータルシステムの開発」の出発——科学研究費による。図書館の窓 P.102～105, Vol. 17, No.9, 1978
- (6) 宮島氏によれば漢字プリンタを必要とする部分すなわちアウトプットの部分は市内の計算センターに外注することで和文雑誌目録の作成を計画中とのことである。
- (7) 学術審議会第3次答申「学術振興に関する当面の基本的な施策について」の中の“学術情報の流通体制の改善について”の項目や、国立大学図書館協議会「図書館機械化調査研究班報告書」の中の“大型学術情報データベースと大学図書館”（P.105～113）の項。（理工学部教授・電子工学）

昭和51・52学年度学生館外貸出（一般図書）利用調査

過去2年間における学生の館外貸出冊数を調査してみた。調査の対象は学部学生であり、院生を始め、研究生、聴講生及び特別専攻科生等は除外した。

A 学部別年次別利用状況

(単位=冊数・人員)

年次 年度	学部	1				2				3			
		在籍者	利用者	利用冊数	非利用者	在籍者	利用者	利用冊数	非利用者	在籍者	利用者	利用冊数	非利用者
昭和51 学年度	法文	312	232	2,038	80	312	234	2,363	78	303	235	3,182	68
	教育	244	171	1,507	73	262	195	1,939	67	228	208	3,201	20
	理工	315	209	2,395	106	319	212	2,316	107	258	205	3,503	53
	保健	64	49	736	15	63	55	954	8	63	45	379	18
	農学	146	83	731	63	144	83	770	61	126	101	809	25
	小計	1,081	744	7,407	337	1,100	779	8,342	321	978	794	11,074	184
昭和52 学年度	法文	284	234	2,207	50	309	238	2,708	71	297	236	2,926	61
	教育	197	160	1,436	37	246	191	2,453	55	249	208	2,594	41
	理工	260	205	2,350	55	302	208	2,499	94	292	234	4,071	58
	保健	66	58	1,058	8	62	52	1,007	10	60	46	295	14
	農学	131	96	776	35	145	86	757	59	127	95	943	32
	小計	938	753	7,827	185	1,064	775	9,424	289	1,025	819	10,829	206
合 計		2,019	1,497	15,234	522	2,164	1,554	17,766	610	2,003	1,613	21,903	390

年次 年度	学部	4				合 計			
		在籍者	利用者	利用冊数	非利用者	在籍者	利用者	利用冊数	非利用者
昭和51 学年度	法文	287	236	2,951	51	1,214 (100)	937 (77)	10,534	277 (23)
	教育	232	206	3,107	26	966 (100)	780 (81)	9,754	186 (19)
	理工	241	167	1,308	74	1,133 (100)	793 (70)	9,522	340 (30)
	保健	63	37	180	26	253 (100)	186 (73)	2,249	67 (27)
	農学	129	88	478	41	545 (100)	355 (65)	2,788	190 (35)
	小計	952	734	8,024	218	4,111 (100)	3,051 (74)	34,847	1,060 (26)
昭和52 学年度	法文	305	246	3,017	59	1,195 (100)	954 (80)	10,858	241 (20)
	教育	225	200	2,500	25	917 (100)	759 (83)	8,983	158 (17)
	理工	256	193	2,247	63	1,110 (100)	840 (76)	11,167	270 (24)
	保健	63	33	130	30	251 (100)	189 (75)	2,490	62 (25)
	農学	124	86	416	38	527 (100)	363 (69)	2,892	164 (31)
	小計	973	758	8,310	215	4,000 (100)	3,105 (78)	36,390	895 (22)
合 計		1,925	1,492	16,334	433	8,111 (100)	6,156 (76)	71,237	1,955 (24)

注: () 内数字はパーセント

A表は在籍者数に対する利用者と、非利用者の割合をだしてみた。学部によってそれぞれ差異はあるが、平均すると昭和51学年度及び52学年度とも約75%の学生が利用し、残り25%が非利用者となっている。また学生1人当りの貸出冊数は、昭和51学年度で8.5冊、52学年度では9.1冊となり、0.6冊の増加を示している。次に学年次別にみると、昭和51学年度の1年次が6.9冊、2年次が7.6冊、3年次が11.3冊、4年次が8.4冊となり、52学年度のそれは1年次が8.3冊、2年次が8.9冊、3年次が10.6冊、4年次が8.5冊となっている。これで分るように、両年度とも3年次が最も多い。

B 学部別利用冊数別分布状況

(単位=人員)

年次 年度	学部	冊数	0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～	休退学者	在籍者
昭和51 学年度	法文	277 (23)	356 (29)	206 (17)	130 (11)	97 (8)	148 (12)	(40)	1,214 (100)	
	教育	186 (19)	225 (23)	186 (19)	132 (14)	101 (11)	136 (14)	(23)	966 (100)	
	理工	340 (30)	274 (24)	178 (16)	109 (10)	85 (7)	147 (13)	(59)	1,133 (100)	
	保健	67 (26)	66 (26)	37 (15)	27 (11)	17 (7)	39 (15)	(9)	253 (100)	
	農学	190 (35)	171 (31)	94 (17)	45 (8)	26 (5)	19 (4)	(18)	545 (100)	
	小計	1,060 (26)	1,092 (26)	701 (17)	443 (11)	326 (8)	489 (12)	(149)	4,111 (100)	

年度	学部	冊数						休・退学者	在籍者
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～		
昭和52学年度	法文	241 (20)	348 (29)	219 (19)	134 (11)	97 (8)	156 (13)	(18)	1,195 (100)
	教育	158 (17)	241 (26)	165 (18)	126 (14)	98 (11)	129 (14)	(24)	917 (100)
	理工	270 (24)	282 (26)	186 (17)	109 (10)	71 (6)	192 (17)	(38)	1,110 (100)
	保健	62 (25)	69 (27)	36 (14)	23 (9)	19 (8)	42 (17)	(2)	251 (100)
	農学	164 (31)	176 (33)	97 (19)	40 (8)	22 (4)	28 (5)	(9)	527 (100)
	小計	895 (22)	1,116 (28)	703 (17)	432 (11)	307 (8)	547 (14)	(91)	4,000 (100)
合計		1,955 (24)	2,208 (27)	1,404 (17)	875 (11)	633 (8)	1,036 (13)	(240)	8,111 (100)

注：() 内数字はパーセント、但し休退学者欄は人員

この表は学部別利用冊数別分布を表わしており、昭和51学年度及び52学年度を平均すると、1冊も利用しなかった学生が全体の24%をしめ、1～5冊が27%、ついで6～10冊17%、11～15冊11%、16～20冊8%、21冊以上13%の順となっている。またこの順序は、昭和50学年度と同じ傾向を示している。ちなみに昭和50学年度の割合をあげると、0冊23%、1～5冊28%、6～10冊19%、11～15冊12%、16～20冊8%、21冊以上10%となっている。

C 年次別利用冊数別分布状況

(単位=人員)

年度	年次	冊数						小計	休・退学者	在籍者
		0	1～5	6～10	11～15	16～20	21～			
昭和51学年度	1	(31) 337	(31) 332	(15) 165	(9) 93	(5) 51	(9) 103	(69) 744	(11)	(100) 1,081
	2	(29) 321	(27) 290	(16) 177	(11) 124	(8) 87	(9) 101	(71) 779	(56)	(100) 1,100
	3	(19) 184	(21) 205	(18) 173	(13) 128	(10) 101	(19) 187	(81) 794	(57)	(100) 978
	4	(23) 218	(28) 265	(20) 186	(10) 98	(9) 87	(10) 98	(77) 734	(25)	(100) 952
	小計	(26) 1,060	(26) 1,092	(17) 701	(11) 443	(8) 326	(12) 489	(74) 3,051	(149)	(100) 4,111
	昭和52学年度	1	(20) 185	(32) 301	(19) 178	(11) 108	(7) 66	(11) 100	(80) 753	(33)
2		(27) 289	(24) 258	(18) 194	(9) 97	(8) 81	(14) 145	(73) 775	(26)	(100) 1,064
3		(20) 206	(26) 263	(16) 167	(11) 116	(9) 91	(18) 182	(80) 819	(19)	(100) 1,025
4		(22) 215	(30) 294	(17) 164	(12) 111	(7) 69	(12) 120	(78) 758	(13)	(100) 973
小計		(22) 895	(28) 1,116	(17) 703	(11) 432	(8) 307	(14) 547	(78) 3,105	(91)	(100) 4,000
合計		(24) 1,955	(27) 2,208	(17) 1,404	(11) 875	(8) 633	(13) 1,036	(76) 6,156	(240)	(100) 8,111

注：() 内数字はパーセント、但し休・退学者欄は人員。

C表は年次別利用冊数別分布を示したものである。この表を作成して予想されたことは、両年度とも高学年にいくにしたがって利用の割合が増加するものと思われたが、結果は表の通りになっている。しかし両年度及び各年次ともいえることは、1～10冊利用した学生が全体の約半分(45%)内外を示していることである。また昭和50学年度においては47%となっている。

D 学部別年度別非利用者推移

(単位=%)

学部 \ 年度	48	49	50	51	52	計(平均)
法 文	20	18	21	23	20	20
教 育	12	13	18	19	17	16
理 工	17	18	24	30	24	23
保 健	27	25	28	26	25	26
農 学	18	19	33	35	31	27
計(平均)	17	18	23	26	22	22

注: 非利用者とは年間1冊も利用しなかった者を云う。

この表は昭和48学年度以降の各学部別非利用者推移である。表の通り昭和51学年度までは上昇傾向にあったが、52学年度は22%に減少している。また学部別平均では教育が最も少なく、農学が最高を示している。

E 学部別年度別最多利用者推移

(単位=%)

学部 \ 年度	48	49	50	51	52	計(平均)
法 文	13	10	11	12	13	12
教 育	16	18	13	14	14	15
理 工	15	13	10	13	17	14
保 健	10	7	11	15	17	12
農 学	12	10	4	4	5	7
計(平均)	14	12	10	12	14	12

注: 最多利用者とは一応年間21冊以上利用した者を云う。

E表は年間21冊以上利用した学生の推移である。この表をみて分るように、前項のD表とは逆の現象を表わしている。即ち、最も多いパーセントを示しているのが教育であり、少ないのが農学である。また年間最多利用者は、昭和51学年度4年次経済学科の学生で、103冊であった。(閲覧係長 新井裕文)

アメリカ研究図書について

アジア財団より、52年1月17日付で日米友好基金との協力の下で、日本の大学に於けるアメリカ研究図書を強化するための援助計画に琉球大学が参加する機関として選ばれたことが承認されたと発表されました。そのため今日までにアジア財団と日米友好基金から1,546冊のアメリカ研究図書を受領し、又日米友好基金5千円の援助金によるアメリカ研究の購入図書273冊も受領致しました。この日米友好基金の援助金により購入図書は各学科主任宛に文書で全教官に依頼し、教官が選択した図書を運営委員会の承認を経て発注し受入れたものであります。

附属図書館では5階の洋書室にコーナーを設け、それらの図書は、日本十進分類法により分類し配架されております。利用については、コーナーでの閲覧は自由ですが、貸出は一般図書の貸出規定に準じて取り扱われております。

米国史、アメリカ文化及び米国の経済、社会、政治制度等に関して、広くアメリカを理解し研究する目的でアメリカ研究図書コーナーが設けられていますので教官及び学生の利用をお願い致します。

日米友好基金とは日米間の学術、文化及び芸術の諸活動を推進する目的をもって、昭和50年に設立されているものであります。

アメリカ研究図書リスト

- | | | | |
|--|---------|--|--------|
| Development of American Journalism, by Sidney Kobre. c1969. | A07-KO | The Modern house, U.S.A.; its design and decoration by Kate E. Rogers. c1962. | A52-RO |
| Essays of Ralph Waldo Emerson. n. d. | A13-EM | Frank Lloyd Wright on architecture; selected writings (1894-1940), ed. by Frederick Gutheim. c1941. | A52-WR |
| American Philosophy, ed. by Ralph B. Winn. 1965. | A13-WI | The River men, by Robert Carse. c1969. | A66-CA |
| Religious movements in contemporary America, ed. by Irving I. Zraestzky and Mark P. Leone. c1974. | A16-ZA | Land for Americans; trends, prospects, and problems, by Marion Clawson. c1963. | A61-CL |
| Jonathan Edwards: basic writings, ed. by Ola Elizabeth Winslow. c1966. | A19-WI | National and international systems of broadcasting; their history, operation and control, by Walter B. Emery. c1969. | A69-EM |
| The Mind and art of Henry Adams, by J.C. Levenson. c1957. | A20-LE | Art in America, by Suzanne La Follette. c1968. | A70-LA |
| The Stream of American history, by Leland D. Baldwin and Robert Kelley. 3rd ed. c1965. | A25-BA | New Theatre in America, ed. by Edward Parone. c1965. | A77-PA |
| Eleanor: the years alone, by Joseph p. Lash. c1972. | A28-LA | Tradition and dissent; a rhetoric reader, by Florence Bonzer Greenberg and Anne P. Heffley. c1967. | A80-GR |
| The Greening of America, by Charles A. Reich. c1970. | A30-RE | Contemporary forum, ed. by Ernest J. Wrage and Bernet Baskerville. c1962. | A80-WR |
| Biography of a bank; the story of bank of America, by Marquis James and Bessie Rowland James. c1954. | A33-JA | The Pronunciation of English in the Atlantic States, by Hans Kurath and Raven I. McDavid, Jr. c1961. | A83-KU |
| Demography: Principles and methods, by T. Lynn Smith and Paul E. Zopf, Jr. c1970. | A35-SM | Democracy: an American novel, by Henry Adams. c1961. | A93-AD |
| The Social structure of revolutionary America, by Jackson Turner Main. c1965. | A36-MA | Hemingway: the writer as artist, by Carlos Baker. c1972. | A93-BA |
| Manner of speaking, by John Ciardi. c1972. | A37-CI | Mark Twain's America, by Bernard DeVoto. c1932. | A93-DE |
| Readings in human development, 75/76. c1975. | A38-RE | The Faulkner reader; selections from the works of William Faulkner. c1954. | A93-FA |
| America on Trial: the war for Vietnam, by Thomas A. Lane. c1971. | A39-LA | The Best known works of Nathaniel Hawthorne. 1941. | A93-HA |
| Eugenics and the progressives, by Donald K. Pickens. c1968. | A49-PI | A Farewell to arms, by Ernest Hemingway. c1957. | A93-HE |
| The Border industrialization program of Mexico, by Donald W. Baerresen. c1971. | A50-B A | The Art of Huckleberry Finn; text, sources, criticism, ed. by Hamlin Hill and Walter Blair. 2nd ed. c1969. | A93-HI |

以下割愛

新着図書リスト

- 学問の思想 加藤周一 久野収共編 筑摩書房
 1974 002 - Ka86
- 学校図書館論 尾原淳夫著 学芸図書 1977
 017 - 011
- 私の読書学遍歴 阪本一郎著 学芸図書 1977
 019 - Sa32
- 雑誌「改造」の四十年 関忠果〔ほか〕編著
 光和堂 1977 051.3 - Se24
- 西郷隆盛全集 1-3 西郷隆盛全集編集委員
 会編纂 大和書房 1976-78 081.8 - Sa18
- 吉田松陰全集 1-10 別巻 山口県教育会編
 纂 大和書房 1972-'76 081.8 - Y86
- 哲学講義 1-4 P.フルキエ著 中村雄二郎
 〔ほか〕訳 筑摩書房 1976-'77 101 -
 F42
- 講座・現代の哲学 1-4 田島節夫〔ほか〕
 編 弘文堂 1977 108 - Ko98
- 現代人間論 小田実編 筑摩書房 1976 114
 - 072
- ヘーゲル論理学註解 田原八郎著 イザラ書房
 1977 134.4 - Ta19
- 達成動機の研究 林保 山内弘継共著 誠信書
 房 1978 141.7 - H48
- 自己実現への道 M. ジェイムス D. ジョング
 ウォード共著 本明寛〔ほか〕訳 社会思想
 社 1977 141.93 - J18
- 自分を思うまゝ動かす 桑名一央著 ぱるす出
 版 1977 149.5 - Ku97
- 武家の家訓 吉田豊編訳 徳間書店 1972
 156.4 - Y86
- 自己を動かす力 海藤守著 実務教育出版
 1974 159 - Ka21
- 人間の知恵 津野恭編著 土屋書店 1975
 159 - Ts81
- 精神分析の話 谷口雅春著 日本教文社 1972
 169.1 - Ta87
- 道しるべ 中山善衛著 天理教道友社 1976
 178.8 - N45
- 法華経音義 古辞書叢刊行会編 古辞書叢刊
 刊行会 1978 183.3 - H82
- 天台学概論 福田堯穎著 文一出版 1975
 188.41 - F74
- 近世真宗の展開過程 児玉識著 吉川弘文館
 1976 188.72 - Ko18
- 歴史の思想体系とその教訓 上下巻 三好康之
 著 勁草出版サービスセンター 1978 204
 - Mi91
- 日本古代遺跡の研究 文献編 上下巻 斉藤忠
 著 吉川弘文館 1976 210.02 - Sa25
- 近世封建社会の基礎構造 朝尾直弘著 御茶の
 水書房 1978 210.5 - A88
- 日本の戦後 上下巻 日本放送協会編 日本放
 送出版協会 1977-'78 210.77 - N77
- 秩父困民党に生きた人びと 中沢市朗編 現代
 史出版会 1977 213.4 - N46
- 天草の歴史 渋谷敏実編 熊本工業大学出版局
 1977 219.3 - Sh23
- 独立前夜の印度 ウイル・デューラント著 早
 坂二郎訳 慶応書房 1940 225.05 - D98
- 印度独立と日本 永松浅造著 大理書房 1942
 225.06 - N15
- 印度の統一 ジャワハラル・ネール著 松本慎
 一訳 育生社弘道閣 1942 225.06 - N62
- イギリス中世社会構造論 赤沢計真著 青木書
 店 1976 233.04 - A33
- 私の人物観 池田大作著 潮出版社 1978
 280.49 - I32
- 仁尾惟茂先生伝 尾崎吸江著 仁尾翁頌徳事業
 実行委員会 1933 289.1 - N76
- 山縣元師 杉山茂丸著 博文館 1925 289.1
 - Y22
- 全訳ガンジー自叙伝 上下巻 M. K. ガンヂー
 著 金井為一郎訳 隣友社 1942 289.2 -
 G19
- 日本の四季 豪華版 風景写真集 毎日新聞社
 1977 291.038 - N77
- 台湾 上・下 武内貞義著 台湾日日新報社
 1914-'15 292.24 - Ta67

- 印度概観 満鉄東亜経済調査局編 1943
 292.25 — Ma 48
 エスキモーの道 日本テレビ 1978 297.8 —
 E 75
 南進台湾史攷 井出季和太著 誠美書閣 1943
 302.22 — I 19
 南方読本 台湾南方協会編 三省堂 1941
 302.224 — Ta 25
 蘭領印度を語る 竹井十郎著 平凡社 1935
 302.24 — Ta 62
 ガンジーさんの絲車 金子健二著 尚文堂
 1931 302.25 — Ka 53
 語り合う現代 1・2 国弘正雄対談 日本
 放送出版協会 1977 304 — Ku 43
 丸岡秀子評論集 2・3 未来社 1978 304
 — Ma 57
 生活の貧しさと心の貧しさ 大塚久雄著 みず
 ず書房 1978 304 — 088
 新日本建設 石原廣一郎著 立命館出版部
 1934 310.4 — I 74
 戦中と戦後の間 丸山真男著 みずず書房
 1978 310.4 — Ma 59
 権力分立に関する論攷 野村敬造著 法律文化
 社 1976 311 — N 95
 国家の思想 吉本隆明編 筑摩書房 1974
 311 — Y 91
 モダン・ポリティクス 現代政治学要論 飯坂
 良明〔ほか〕著 学陽書房 1978 311.23
 — I 28
 人権の思想 武田清子編 筑摩書房 1974
 313.19 — Ta 59
 宮本顕治対談集 増補 宮本顕治著 新日本出
 版社 1976 315.1 — Mi 77
 アジアの民族運動 世界経済研究所編 白揚社
 1949 316.82 — Se 22
 印度民族運動史 加藤長雄著 東亜研究所
 1942 316.825 — Ka 86
 公務労働の理論 芝田進午著 青木書店 1977
 317.3 — Sh 18
 日印関係小史 大形孝平編 アジア経済研究所
 1969 319.1 — 023
 南方統治の諸問題 秋永筆著 日光書院 1943
 319.123 — A 36
 平和の思想 鶴見俊輔編 筑摩書房 1972
 319.8 — Ts 85
 日本国憲法と教育権の理論 田辺勝二著 高文
 堂出版社 1978 323.43 — Ta 83
 法学部学生のための国家試験 野村好弘 磯部
 力共編 学陽書房 1978 327.07 — N 95
 経済の思想 伊東光晴 長幸男共編 筑摩書房
 1974 331 — I 89
 現代経済学 置塩信雄著 筑摩書房 1977
 331 — O 52
 エコノミーとエコロジ 玉野井芳郎著 みずず
 書房 1978 331 — Ta 78
 小林昇経済学史著作集 1—6 未来社 1976
 —'78 331.23 — Ko 12
 論争・転形問題 伊藤誠〔ほか〕編訳 東京大
 学出版会 1978 331.5 — I 89
 戦後ドイツ経済史 出水宏一著 東洋経済新報
 社 1978 332.34 — D 56
 南方政策を現地に視る 日本外事協会編 1936
 333.31 — N 77
 南洋の五十年 南洋及日本人社編 1937
 334.42 — N 48
 台湾と南支南洋 台湾総督官房調査課編 台湾
 総督官房調査課 1935 334.723 — Ta 25
 台湾植民発達史 東郷実 佐藤四郎共著 晃文
 館 1916 334.724 — To 23
 企業の助成と対策 中小企業篇 通産企画調査
 会編 1978 335.3 — Ts 91
 日常の思想 高島通敏編 筑摩書房 1976
 363 — Ta 28
 日本社会運動史研究史論 小山弘健著 新泉社
 1976 363.021 — Ko 97
 変動期における生活意識と行動 国民生活セン
 ター編 金子書房 1978 365 — Ko 48
 労災職業病 判例先例 1—3 労働教育センタ
 — 1977 366.36 — R 71
 総合国策と教育改革案 石川準吉著 清水書院
 1974 373.1 — I 76
 教育専門職の理論 勝野尚行著 法律文化社
 1976 374.3 — Ka 89
 教育労働の理論 芝田進午著 青木書店 1975
 374.3 — Sh 18
 登校拒否 小泉英二編著 学事出版社 1977
 378 — Ko 38
 現代社会教育概論 辻功 山本恒夫共編著 第

一法規出版 1977 379 - Ts41
青年集団史研究序説 上下巻 平山和彦著 新
泉社 1978 384.1 - H69
田植ばやし研究 内田るり子著 雄山閣出版
1978 388.91 - U14
男性と女性 上下巻 M. ミード著 田中寿美
子 加藤秀俊共訳 東京創元社 1976 - '77
389 - Me11
太平洋に於ける民族文化の交流 清野謙次著
創元社 1944 389.7 - Ki88
中国の科学と文明 1-7 ジョセフ・ニーダ
ム著 礪波護〔ほか〕訳 思索社 1974 - '77
402.22 - N61
ポケット電卓による計算解析 ベーター・ヘン
リチ著 一松信訳 現代数学社 1978 418.1
- H52
工科系のための基礎物理学 竹内均著 裳華房
1974 420.1 - Ta67
生物工学 梅谷陽二著 共立出版 1977 460
- U73
日本の人体実験 高杉普吾著 三笠書房 1973
490.4 - Ta54
医療労働の理論 芝田進午編 青木書店 1976
498.18 - Sh18
流れの可視化ハンドブック 浅沼強編 朝倉書
店 1977 501.29 - N19
よくわかる構造力学の整理と演習 静定構造編
新田亮 伊藤実共著 1976 501.34 - N88
明日のエネルギー 岸田純之助編 日本生産性
本部 1975 501.6 - Ki57
アジア諸国の輸出加工区 藤森英男編 アジア
経済研究所 1978 509.1 - F62
N値およびCと ψ の考え方 土質工学会事業普
及委員会編 土質工学会 1977 511.2 - D
88
逐条解説廃棄物処理法 厚生省環境衛生局水道
環境部計画課編著 改訂新版 ぎょうせい
1978 519.3 - Ko83
現代環境工学概論 加藤邦興〔ほか〕編 オ
ーム社 1978 519.5 - Ka86
建築学序説 福島正人編 森北出版 1977
520.1 - F84
建築家とパトロン フランク・ジェンキンス著
佐藤彰 五島利兵衛共訳 鹿島出版会 1977

523 - J36
回想のバイオニア アルフレッド・ロート著
村口晴美訳 新建築社 1977 523.9 - R74
建築応用力学 小野薫 加藤渉共著 改訂版
共立出版 1978 524.1 - O67
建築構造力学 齊藤謙次著 理工図書 1975
524.1 - Sa25
建築構造力学 1・2 田口武一著 昭晃堂
1977 524.1 - Ta19
耐震工学 岡本舜三著 オーム社 1977
524.91 - O42
コンピュータソフトウェアの標準化 1-6
水野幸男、東基衛共編 日本経済新聞社
1977 535.54 - Ko78
100万人のマイクロコンピュータ 1、2 杉
田稔編著 テクノ 1977 535.54 - Su46
太陽熱発電技術読本 堀島孝編 オーム社
1977 543.7 - H88
手漉和紙精髄 久米康生著 ふるさとの歴史
講談社 1975 585.6 - ku37
地域開発と地域政策 城島国弘 テオドール・
ダムス共編 東洋経済新報社〔発行年不明〕
601.1 - Sh89
ダバオ開拓記 古川義三著 古川拓殖株式会社
1956 602.248 - F93
日本農書全書 第5・8巻 農山漁村文化協会
1978 610.8 - N77
本間家土地文書 第3巻 松尾武夫編 農業総
合研究所 1977 611.22 - Ma85
農用地の移動と農業構造の変貌 広沢吉平著
農林統計協会 1977 612.113 - H72
経済上より見たる台湾の糖業 相良捨男著 近
藤印刷社 1919 617.1 - Sa16
信州からまつ造林百年の歩み 長野県編 長野
県 1978 653.6 - N16
物流原価計算 西沢脩著 中央経済社 1977
675 - N87
美の思想 羽仁進編 筑摩書房 1975 701.1
H29
仏像の再発見 西村公朝著 吉川弘文館 1976
718 - N84
中・四国おもちゃ風土記 中国新聞社 1977
759.9 - C61
現代社会体育論 菅原禮〔ほか〕編著 不昧堂

出版 1977 781 - Su22
 身体運動の生理学 猪飼道夫著 杏林書院
 1978 781.9 - I 31
 言語と文化 H. ランダー著 岡野松雄 大社
 淑子共訳 大修館書店 1977 801.03 - L
 22
 現代英語の文法 外山敏雄著 緑風庵 1977
 835 - So78
 正宗白鳥 文学と生活 後藤亮著 黒潮社
 1966 910.28 - G 72

太宰治の精神分析 北垣隆一著 北沢図書出版
 1974 910.28 - Ki63
 戦後文学の思想 高橋和巳編 筑摩書房 1974
 910.4 - Ta 33
 颯秣建国の秋-歌集- 岩野喜久代著 大東出
 版社 1978 911.16 - I95
 神は大地に生きる 浜田けい子著 天理教道友
 社 1977 913.6 - H 22
 パゴダの鐘 小島新吾 西村清共編 ビルマ会
 1956 915.9 - K039

Readers' guide to Periodical
 literature, vol. 1-35, ed.
 by Anna Lorraine Guthrie.
 1900-1976. 039-RE
 Lives of the founders of the
 British museum; with notices
 of its chief augmentors and
 other benefactors 1570-1870,
 by Edward Edwards. 1969. 069.33-ED
 John Dewey: the middle works,
 1899-1924, vol. 1-2, ed. by
 Jo Ann Boydston. c1976. 133.96-DE
 Eminent contributors to psy-
 chology, vol. 1-2, ed. by
 Robert I. Watson. c1974. 140-WA
 Altered states of consciousness;
 a book of readings, ed. by
 Charles T. Tart. c1969. 141.4-TA
 Oxford world atlas, prepared by
 the Cartographic Department of
 the Clarendon press. c1973. 290.38-OX
 Korea; its land, people and
 culture of all ages. c1960. 292.1-KO
 Karl Mark and Friedrich Engels
 Werke, Band 1-39, von Karl
 Marx, and Friedrich Engels.
 c1956 -1973. 308-MA
 Economics, by Paul A. Samuelson
 3rd ed. c1976. 331-SA
 Primitive culture: researches
 into the development of
 mythology, philosophy, religion,
 art, and custom, vol. 1-2. by
 Edward B. Tylor. 1974. 361.6-TY
 Cultural formation of the
 Mundas; hill peoples surround-
 ing the Ganges Plain, by
 Ryuji Yamada. c1970. 389.23-YA
 Real and complex analysis, by
 Walter Rudin. 2nd ed.

c1974. 413.54-RU
 Annual review of earth and
 planetary sciences, vol. 3-4,
 ed. by Fred A. Donath.
 c1975-c1976. 448-AN
 Continental drift, ed. by S.K.
 Runcorn. 1962. 450.12-RU
 Stratigraphy and life history,
 by Marshall Kay and Edwin
 H. Colbert. c1965. 456-KA
 Microbial production of nucleic
 acid-related substances, ed.
 by Koichi Ogata and others.
 c1976. 465-OG
 Chromosomal evolution in higher
 plants, by G. L. Stebbins.
 c1971. 471.3-ST
 Carotenoproteins in animal
 coloration, ed. by Welton L.
 Lee. c1977. 481.6-LE
 Optical signals; animal communi-
 cation and light, by Jack P.
 Hailman. c1977. 481.78-HA
 Lizard ecology a symposium, ed.
 by William W. Milstead. c1967.
 487.93-MI
 Environmental laws and regulations
 in Japan, by Environment
 Agency, Japan. 1976. 519.5-EN
 Industrial air pollution control,
 by Kenneth Noll and Joseph
 Duncan. c1973. 519.55-NO
 Industrial waste disposal, by
 B.Koziorowski and J.Kucharski,
 tr. from polish by J.
 Bandrowski. c1972. 519.57-KO
 Electric machinery; the processes,
 devices, and systems of
 electromechanical energy conversion,
 by A. E. Fitzgerald, Charles

Kingsley and Alexander Kusko. 3rd ed. c1971. 542-FI	an international view, by UNESCO. c1975. 740-UN
Faith, Keyes, and Clark's industri- al chemicals, by Frederick A. Lowenheim and Marguerite K. Moran. 4th ed. c1975. 570-LO	Who's who in baseball 1962; official lifetime records of major league players, ed. by Allan Roth. 47th ed. 1962.783.7-RO
Chinese farm economy; a study of 2866 farms in seventeen localities and seven provinces in China, by John L. Buck. 1930. 612.22-BU	Foundations of language development; a multidisciplinary approach, vol. 1-2, ed. by Eric H. Lenneberg and Elizabeth Lenneberg. c1975. 801-LE
Pig diseases, by H. G. Belschner. c1972. 649.4-BE	La Grammaire des Fautes, by Henri Frei. 1929. 855-FR
Marketing management; a systems Perspective, by William Lazer. c1971. 675-L A	Early victorian novelists; essays in revaluation, by David Cecil. 1966. 933.028-CE
The Education of the film-maker:	

図書館事情

<館内研修会>

11月10日(金)午前10時から11時45分まで整理係洋書担当金城照子を講師として「洋書の整理」について研修会を開いた。その後総務係長宮城朝教より「文献複写の取扱について」報告があり、更に事務長平良恵仁より「新敷地に於ける大学図書館のあり方」について説明が行なわれた。参加人員29名

<第116回図書館運営委員会要録> 日時:11月20日(月)15:15-17:15

場所:会議室(プレハブ2階)

審議事項:(1)農学部移転に伴う図書館資料の利用について(回答)

報告事項:(1)文部省配当外国雑誌(自然科学系)による購入雑誌の発注について

<来訪者>

ロバート・E・ケイズ氏(Mr. Robert E. Kays 駐日米国大使館、国際交流局次長 文化担当官)、アリス・M・レイジ女史(Ms. Alice M. Lagz 駐日米国大使館 国際交流局 図書館企画担当官)、名渡山兼治氏(在沖縄米国総領事館 国際交流課)が11月30日(木)、1時40分図書館を訪れ具志館長平良事務長、関係職員とアジア財団からの寄贈図書及びアメリカ研究図書について懇談し、アメリカ研究図書コーナーを見学した。

<第7回沖縄県大学図書館協議会総会及び講演会>

12月2日(土)1時から3時まで沖縄県大学図書館協議会総会が沖縄国際大学図書館で行われ、ひきつづき4時まで沖縄国際大学社会科学科教授宮城栄昌氏を講師として「沖縄女性史」について講演会が行われた。参加人員45名

<第117回図書館運営委員会要録> 日時:12月18日(月)15:15-17:15

場所:会議室(プレハブ2階)

審議事項:(1)農学移移転に伴う図書館資料の利用について(継続審議)

琉球大学附属図書館報“びぶりお”第11巻第3号〔通巻第41号〕

昭和54年1月8日 発行人 平良恵仁 沖縄県那覇市当蔵町3丁目1番地

電話 34-0101(内線338)